

# 1年言語の習得 (MYP2 Language Acquisition) 【外国語：4単位】

## 科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。

## 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび少し複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「MYP Language Acquisition Guide」に基づいています。

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
5-6	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイルの選択
	偏見	推測	テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題の MYP 評価観点 (【 】内) および課題概要と 評価方法	1. 学習指導要領観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニケーション 2. 個人的・文化的表現 3. コミュニケーションスキル・社会性スキル	Topic "Nice to meet you." 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声 (ア) 現代の標準的な発音 (ウ) 語や句、文における基本的な強勢  ウ 語、連語及び慣用表現 (ア) 単語 (主に自己他己紹介に関わるもの〔数、年月、場所、家族構成、好きなこと、食べ物、趣味、教科、得意なこと等〕、人を表す形容詞、be 動詞と一般動詞、不定詞、動名詞) (ウ) 慣用表現 エ 文、文構造及び文法事項 (イ) 文構造 (イ) 文構造 a 主語+動詞+補語 b 主語+動詞+目的語のうち (a)の動名詞と to 不定詞 (I like to play piano/playing piano) (ウ) 文法事項 a(a)人称や指示、数量を表すもの b 接続詞 and と but d 前置詞 (to) e 動詞の時制及び相など 現在形 g to 不定詞 h 動名詞	インタビュー形式で自己紹介及び他己紹介をする【C】 ペンパルの手紙を読み、その内容について理解し、自分の考えを述べる【B】 「筆記テスト」 ペンパルに手紙を書く【D】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-C  2. A-1
	2	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル・自己管理スキル	Topic "My Day" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声 (イ) 語と語の連結による音変化 (エ) 文における基本的なイントネーション (オ) 文における基本的な区切り ウ 語、連語及び慣用表現 (ア) 単語 (主に日常生活に関わるもの、順番や時を表す接続表現 [before/after]、感情を表す形容詞、頻度を表す副詞) (イ) 連語 (ウ) 慣用表現 (have lunch など) エ 文、文構造及び文法事項 (ア) a 重文、複文 (イ) 文構造 a 主語+動詞+補語 (ウ) 文法事項 d 前置詞 (時間に関するもの at/from-untill/for) 交通手段に関する物 by/on foot e 動詞の時制及び相など 現在形 f 接続表現 so/but/and/ and then/ because	動画を視聴し、その内容について理解し、自分の考えを述べる【A】 英文を読み、その内容について理解し、自分の考えを述べる【B】 「スピーチ」 自分の日常生活について紹介する【C】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C  2. C-18
後期 (10月～3月)	3	1. 創造性 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション・社会性・リサーチ・思考	Topic "My town" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声 (ウ) 語や句、文における基本的な強勢 ウ 語、連語及び慣用表現 (ア) 単語 (主に場所に関するもの〔道案内、勧める方法〕、ものや場所を表す形容詞、度合いの副詞 very/so/really、冠詞、順番を表す接続表現 first/then、文をつなぐ接続表現 and/so/but/because 等) (イ) 連語 (主に道案内に関わるもの) (ウ) 慣用表現 get on, take the bus など エ 文、文構造及び文法事項 (ア) 文 a 重文、複文 (イ) 文構造 a 主語+動詞+補語 It's a festival. It's fun. (ウ) 文法事項 b 接続表現 first/second/and then/finally c 助動詞 can/should d 場所に関する前置詞 at/in/on/near e 代名詞 主格/目的格	オーディオテキストを聞いて、その内容について理解し、自分の考えを述べる【A】 「パンフレット作成」ある地域について紹介する。ライティングテスト。【D】	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-A  2. C-16
	4	1. コミュニケーション 2. 空間的、時間的位置づけ 3. コミュニケーションスキル・自己管理スキル・思考スキル	Topic "My Story" 学習指導要領との関連性【2内容〔知識及び技能〕より】 ア 音声 (エ) 文における基本的なイントネーション (オ) 文における基本的な区切り ウ 語、連語及び慣用表現 (ア) 単語 (規則・不規則動詞の過去形、時を表す接続表現 [When-] 等) エ 文、文構造及び文法事項 (ア) 文 a 複文 (イ) 文構造 a 主語+動詞+補語 b 主語+動詞+目的語のうち (a)の動名詞と to 不定詞 (I liked to play piano/playing piano) (ウ) 文法事項 c 助動詞などを用いた未来表現 be going to/will e 動詞の時制及び相など 過去形 (be 動詞/一般動詞の規則変化と不規則変化) 接続表現 when	(インタビュー形式で経験したことを説明したり、現在と将来の自分につなげたりする【C】)	1. ( ① 知識・技能-C ③主体的に学習に取り組む態度-C)  2. A-3